



【教育目標】

- ・ 自ら考え正しく判断できる生徒
- ・ 心豊かで最後までやり抜く生徒
- ・ 健康で活力のある生徒

県中体連陸上大会見事2位 共通砲丸投げ 高野豪君(3年)

福島県中学校陸上競技大会が、7月4～6日にかけて、いわき市のいわき陸上競技場で開催され、本校から27名の選手が参加し健闘しました。

とくに、共通砲丸投げでは、昨年の新人陸上で優勝していた本校3年の高野豪君が、力を発揮し、惜しくも優勝は逃しましたが、2位に入る活躍を見せました。記録は11m86でした。8月に岩手県北上市で東北大会が開催されますので、さらに記録を伸ばし活躍してくれることを期待したいと思います。

また、惜しくも入賞を逃しましたが、女子共通砲丸投げで2年小方祐佳さんが9位に、男子2・3年1500mで予選を通過した2年渡邊優典君が決勝で10位に入る健闘を見せました。どちらも2年生なので、来年がたいへん期待されます。その他の選手は、残念ながら予選を通過することはできませんでしたが、ほとんどが1・2年生です。来年、雪辱を期してほしいと思います。



表彰台の高野君



投げ終えた瞬間の高野君

少年の主張南相馬市大会 最優秀賞 佐藤茅音さん(2年) 優秀賞 志賀蒼依さん(3年)



笑顔で賞状を持つ佐藤さん



自分の思いを語る志賀さん

第12回少年の主張南相馬市大会が、7月10日（火）に石神中学校体育館で開催されました。市内の各中学校から2名ずつの12名が参加し、それぞれ自分の思いを発表しました。

本校からは、2年佐藤茅音さんと3年志賀蒼依さんが参加し、見事な発表でした。佐藤さんは、「未来ある子ども達のために」というテーマで、未来ある子どもの中に、今、虐待によって苦しみ、平穏な生活を送ることが

できない子がいるという現実を皆さんと共に考えていきたいということを訴えかけました。表現力豊かに説得力のある発表だったと思います。また、志賀さんは、「人とのつながり」というテーマで、人は生まれる場所や時間を選ぶことができない。だからこそ、様々な人とのつながりや関わりを大切にしていきたいということを家族や友だちとの関係も踏まえて訴えかけました。自分の素直な気持ちを聞いている人たちにわかってもらえたと思えるいい発表でした。

参加した12名の発表は、どの発表も自分の思いや願い、そして、社会への意見などについて、的確に述べていたと思います。最優秀賞（3名）には、見事、佐藤茅音さんが選ばれました。志賀蒼依さんも優秀賞ということで健闘しました。最優秀賞は、今後、書類審査をへた上で県大会出場の可能性があります。